

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)メイン吉川駅前計画 新築工	階数	地上14F
建設地	埼玉県吉川市	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	331人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年8月 予定	評価の実施日	2024年7月30日
敷地面積	1,677 m ²	作成者	片野 拓也
建築面積	746 m ²	確認日	2024年8月2日
延床面積	7,753 m ²	確認者	片野 拓也



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)								
<p>BEE = 1.5 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★</p>	<p>30% ★★★★★ 60% ★★★★★ 80% ★★★★★ 100% ★★★★★ 100% 緑: ★</p> <p>標準計算</p> <table border="1"> <tr> <td>①参照値</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②建築物の取組み</td> <td>62%</td> </tr> <tr> <td>③上記②以外の</td> <td>62%</td> </tr> <tr> <td>④上記+</td> <td>62%</td> </tr> </table> <p>(kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	①参照値	100%	②建築物の取組み	62%	③上記②以外の	62%	④上記+	62%	<p>Q2 サービス性能: 5 Q1 室内環境: 3 Q3 室外環境(敷地内): 3 LR1 エネルギー: 4 LR2 資源・マテリアル: 3 LR3 敷地外環境: 3</p>
①参照値	100%									
②建築物の取組み	62%									
③上記②以外の	62%									
④上記+	62%									

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>環境品質</p> <p>Qのスコア = 3.1</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 3.3</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.2</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 2.7</p>
<p>環境負荷低減性</p> <p>LRのスコア = 3.6</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 4.4</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 2.7</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>地域環境や街並みとの調和を図り、省エネルギーや環境負荷軽減を考慮しつつ、敷地内の防犯や利便性、室内の快適性に配慮した計画としている。</p>		<p>その他</p> <p>LED、省エネ設備、複層ガラスを採用。</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>二重壁工法によりDr-50を目値に設定 F☆☆☆☆を床・壁・天井・天井裏の70%以上の面積に採用している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>劣化対策等級3を取得。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>特になし。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>断熱性能等級4を取得。 潜熱回収型給湯器エコジョーズを採用。 LED照明を共用部全てに採用。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LGS+ボードなど解体時に分別しやすい工法としている。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>広告物照明を行わないことで、敷地外への環境に配慮した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
 (仮称)メイン吉川駅前計画 新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄				全体
配慮項目		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q1 建築物の環境品質						3.1
Q1-1 音環境		3.0	0.15	3.1	1.00	3.1
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音		3.0	0.50	3.3	0.50	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能	界壁壁厚を180mm以上とし二重壁工法によりDr-50を目標値に設定	-	-	4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		-	-	-	-	
2 温熱環境		2.6	0.35	3.3	1.00	3.2
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.7	0.50	
1 室温		3.0	0.63	3.0	0.63	
2 外皮性能	住宅性能表示制度 断熱等性能等級における等級5を取得	3.0	0.38	5.0	0.38	
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境		2.8	0.25	3.6	1.00	3.5
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.0	0.30	
1 昼光率	共用部分:3.70%、住居部分:2.6%	5.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	4.0	0.30	
1 昼光制御	カーテン及びバルコニー庇の組合せで制御	3.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御		1.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境		3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆を床、壁、天井、天井裏の面積の合計の70%以上の面積	4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理		-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御		-	-	-	-	
Q2 サービス性能						3.2
1 機能性		3.0	0.40	3.8	1.00	3.6
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性		-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応	各住戸に1GbpsのインターネットHUBを設置	-	-	5.0	1.00	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3 内装計画		3.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.8	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数	住宅性能表示制度 構造躯体劣化等級3を満たす	5.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:SUS(C)、汚水排水:VP(B)、雑排水:VP(B)、Eは不使用	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		2.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		1.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		1.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性		3.0	0.30	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり				2.6	0.50	
1 階高のゆとり				3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ				2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.0	1.00			
1 空調配管の更新性		3.0	0.20			
2 給排水管の更新性		3.0	0.20			
3 電気配線の更新性		3.0	0.10			
4 通信配線の更新性		3.0	0.10			
5 設備機器の更新性		3.0	0.20			
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)			0.30			2.7
1 生物環境の保全と創出		2.0	0.30			2.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30			3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性						3.6
LR1 エネルギー			0.40			4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		住宅性能表示制度 断熱等性能等級における等級5を取得		5.0	0.20	5.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.10			3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.80		5.0	0.50	5.0
4 効率的運用		3.0	0.20			3.0
集合住宅以外の評価						
4.1 モニタリング						
4.2 運用管理体制						
集合住宅の評価		3.0	1.00			
4.1 モニタリング		3.0	0.50			
4.2 運用管理体制		3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル			0.30			3.0
1 水資源保護		2.2	0.20			2.2
1.1 節水		1.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60			
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70			
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減		3.2	0.60			3.2
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10			
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20			
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10			
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み		躯体+軽鉄+仕上材の構造により躯体と仕上材の分別が容易		5.0	0.20	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20			3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		壁紙用接着剤 指定化学物質含有 無し		4.0	0.30	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70			
1 消火剤						
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50			
3 冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境			0.30			3.3
1 地球温暖化への配慮		住宅性能表示制度 断熱等性能等級における等級5を取得		4.5	0.33	4.5
2 地域環境への配慮		2.5	0.33			2.5
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25			
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3 交通負荷抑制		3.0	0.25			
4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25			
3 周辺環境への配慮		3.1	0.33			3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40			
1 騒音		3.0	1.00			
2 振動						
3 悪臭						
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40			
1 風害の抑制		3.0	0.70			
2 砂塵の抑制						
3 日照阻害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制		3.7	0.20			
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		広告物照明を行っていない		4.0	0.70	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)メイツ吉川駅前計画 新築	BEE	1.6	BEEランク	★★★★
------	------------------	-----	-----	--------	------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
4.5	+	2.3	=	6.8	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上		

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	4.5
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	4.5
<配慮した内容を記述>			
<ul style="list-style-type: none"> 断熱性能等級5を取得 潜熱回収型給湯器エコジョーズを採用 LED照明を共用部全てに採用 			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
<配慮した内容を記述>			
<ul style="list-style-type: none"> 基準値以上の緑化面積を確保 			

:入力欄